

ブックレポート（貧困問題）のための参考文献表（2014.10.1 現在） 下川 雅嗣

ブックレポートのためには、下記に掲載されているものから選ぶこと（★はお薦め）。これ以外の本・論文を扱うことはあまり薦められないが、どうしても読みたいものがある場合は授業の後等に相談すること。これは適宜改訂を行う予定。

- ★[1] 幡谷則子、下川雅嗣編著（2008）『貧困・開発・紛争：グローバル/ローカル相互作用』（地域立脚型グローバル・スタディーズ叢書第3巻）、上智大学出版。基
- ★[2] 穂坂光彦（1994）『アジアの街わたしの住まい』明石書店。基
 - ・居住問題がテーマ。アジア各国のスラムでの人々の生活・取組の実情がよくわかる。
- ★[3] ホルヘ・アンソレーナ、伊従直子（1992）『スラムの環境・開発・生活誌』明石書店。基
 - ・入門書（少し情報が古い）。⇒この本の情報のアップデートとして、ホルヘ・アンソレーナ（2007）『世界の貧困問題と居住運動』明石書店、にも目を通されたら良いかもしれない（現場を訪問したいような方には重要）。
- ★[4] アンソレーナ/伊従/内田/穂坂(1987)『居住へのたたかい』明石書店。（基本書）基
- ★[5] 穂坂光彦/平野/朴/吉村編著(2013)『福祉社会の開発』ミネルヴァ書房
 - ・ブックレポートの際は、1章「福祉社会の開発と研究」(pp.2-38)と4章「アジアの草の根生活保障」(pp.69-93)の穂坂光彦氏が書いた部分だけでよい(4章の話を日本国内につなげることに関心がある場合は、9章「まちづくりから福祉へ：大阪・北芝地区の試み」を加えたらよい)。
- ★[6] Diana Mitlin and David Satterthwaite (2013), *Urban Poverty in the Global South: Scale and Nature*, Routledge. ひとつの chapter のみで良い（ただし Chapter 1 を除く）。
- ★[7] David Satterthwaite and Diana Mitlin (2014), *Reducing Urban Poverty in the Global South*, Routledge. ひとつの chapter のみで良い（ただし Chapter 1 を除く）。なお[6]と[7]は姉妹書。
- ★[8] パウロ・フレイレ（小沢有作他共訳）（1979）『被抑圧者の教育学』亜紀書房。基
- ★[8] パウロ・フレイレ（三砂ちづる訳）（2011）『新訳：被抑圧者の教育学』亜紀書房。
 - ・古典。識字教育の原点はここ。途上国における教育支援、特に識字教育に関心がある人は是非読んで欲しい本。1979年版は訳が硬い。
- [9] パウロ・フレイレ（里見実訳）（2001）『希望の教育学』太郎次郎社。基
 - ・「いまある状態が、すべてではない。ものごとを変える、変えることができる」、という意志と希望を失ったそのときに、教育は、被教育者にたいする非人間化の、抑圧と馴化の行為の手段になっていく。
- [10] 里見実（2010）『パウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」を読む』太郎次郎社。
- [11] ムハマド・ユヌス著、猪熊弘子訳（1998）『ムハマド・ユヌス自伝：貧困なき世界をめざす銀行家』早川書房。→グラミンバンクの創始者の自伝。
- [12] ムハマド・ユヌス著、猪熊弘子訳（2008）『貧困のない世界を創る』早川書房。
- ★[13] ヒュー・シンクレア著、大田直子訳(2013)『世界は貧困を食いものにしている』朝日新聞出版（原書名：Confessions of a Microfinance Heretic: How Microlending Lost its Way and Betrayed the Poor）→マイクロファイナンスの批判。（?）
- ★[14] ロバート・ニューワース著、伊藤真訳(2013)『「見えない」巨大経済圏』東洋経済。（原書名：Stealth of Nations: The Global Rise of the Informal Economy）（?）
- [14] Amartya Sen (1999), *Development as Freedom*, Anchor Books (A Division of Random House, Inc)（『自由と経済開発』という翻訳本があるが訳がいまひとつ）基
- [15] 定松栄一（2002）『開発援助か社会運動か：現場から問い直す NGO の存在意義』コモンズ。
- [16] Robert Chambers (1997), *Whose Reality Counts? Putting the First Last*, Intermediate Technology Publications. (野田直人, 白鳥清志監訳 (2000)『参加型開発と国際協力：変わるのは私たち』明石書店) 基
- [17] 上智大学社会正義研究所・ICU 社会科学研究所共編（2009）『グローバル化と先進国における貧困と社会的排除；野宿者、フリーター、移住労働者の現場から』サンパウロ。
- [18] 上智大学社会正義研究所・ICU 社会科学研究所共編（2010）『グローバル化に対抗する運動ともう一つの世界の可能性；いかに繋がり、いかに変えるか』現代企画室。
 - ・[17]の問題指摘を受けて、その変革の可能性・動きはあるのかというテーマでの国際

シンポジウムをテーブルおこしをしたもの。[16]を読んだ人は[17]も是非どうぞ。
[19]上智大学学内共同研究「貧困と差別」(2007)『知っていますか？野宿者のこと』2006
年度野宿者問題連続講座記録。[基]

<http://www.erp.sophia.ac.jp/Institutes/igc/pdf/homelessHP.pdf>

[20]湯浅誠 (2008)『反貧困』(岩波新書) 岩波書店。[基]

★[21]Peter Masatsugu Shimokawa (2013), “Recent Changes in Forced Evictions and Homelessness in Japan,” ACCA and ACHR Eviction Research.

<http://www.achr.net/upload/files/Homless%20Eviction%20in%20Japan.pdf>

★[22]小久保哲郎、安永一郎編 (2010)『すぐそこにある貧困：かき消される野宿者の尊厳』
法律文化社

★[23]青木秀男編著 (2010)『ホームレス・スタディーズ：排除と包摂のリアリティ』ミネ
ルヴァ書房。

★[24]生田武志、北村年子著(2013)『子どもに「ホームレス」をどう伝えるか』ホームレス
問題の授業づくり全国ネット。

★[25]稲葉剛 (2013)『生活保護から考える』(岩波新書) 岩波書店。

《授業の内容をまとめた文献←これだけではブックレポートの対象ではない》

・下川雅嗣 (2006)「アジアにおける貧困層のあゆみとコミュニティ・ビジネス」内田雄造
編著『まちづくりとコミュニティワーク』解放出版社、pp159-185。

・下川雅嗣 (2007)「貧困者の現実、彼らの歩みとオルタナティブな発展：アジアの都市部
の事例を中心に」村井吉敬、安野正士、デヴィット・ワンク編著『グローバル社会のダ
イナミズム』、上智大学出版会、pp183-206。

・下川雅嗣 (2008)「貧困者の歩み (People's Process) の発展：パキスタン、タイの事例か
ら」幡谷則子、下川雅嗣編著『貧困・開発・紛争：グローバル/ローカル相互作用』上智
大学出版会、pp.201-237。

・下川雅嗣 (2008)「結びローカル/グローバル相互作用が生む新たな発展モデル」幡谷則
子、下川雅嗣編著『貧困・開発・紛争：グローバル/ローカル相互作用』上智大学出版会、
pp.239-255。

《関連ホームページ》 ●は特にお勧め

●Asian Coalition for Housing Rights : <http://www.achr.net/>

アジアの貧困者、インフォーマルセクターの状況を知るのこれが一番良い。アジアにおける People's
Process の発展を目指している。

●ACCA(Asian Coalition for Community Action) : <http://www.achr.net/activities-acca.php>
19か国 165都市で行われている People's Process による都市貧困層発展(開発)プロジェクト

●URC (Urban Resource Centre) : <http://www.urckarachi.org/home.htm>

パキスタン・カラチの都市資料センター。貧困者と政府と専門家の3者が共有するスペースを広げるた
めの活動をやっている資料センター。世界銀行やADBの行おうとする大規模プロジェクトに対して代替
案を提示したりもする。

・OPP (ORANGI PILOT PROJECT): <http://www.oppinstitutions.org/>

パキスタン・カラチオランギ地区から始まり、パキスタン全土で People's Process の発展を目指してい
る NGO。

・OPP-OCT(Orangi Pilot Project – Orangi Charitable Trust) <http://www.oppoct-microcredit.com/>
パキスタンの都市インフォーマルセクターの自営業者や農村コミュニティへのマイクロクレジットを
行っていると同時に協同組合の促進やネットワーク化を通してマーケットへの共同でのアクセス等にも
取り組んでいる。

●SPARC (SOCIETY FOR THE PROMOTION OF AREA RESOURCE CENTRES):<http://www.sparcindia.org/>
インド・ムンバイを中心にスラム・路上生活者運動を担う当事者/支援者団体

●SDI (Slum / Shack Dwellers International): <http://www.sdinet.org/>

アフリカとアジアのスラム住民連合(スラム住民当事者による国境・大陸を越えたネットワーク)

・COHRE (Center on Housing Rights and Eviction) <http://www.cohre.org/>

●HIC (Habitat International Coalition) <http://www.hic-net.org/>

・GRAMEEN BANK <http://www.grameen-info.org/>